

英語科 学習指導案

大阪府立〇〇高等学校

指導者 教諭 〇〇 〇〇

1. 日 時 平成〇年〇月〇日 (〇) 第〇時限 〇時〇分～〇時〇分

2. 場 所 第1学年〇組教室

3. 学年・組 第1学年〇組

4. 単元名・使用教科書等

Genius English Communication I (大修館) Lesson 7 Mother of Women's Judo

5. 単元目標

- ・英文の論理展開を把握し、文章全体の要旨を理解する（読むこと）。
- ・過去完了進行形・動名詞・分詞を用いた文の意味・構造を理解する。
- ・読んだ内容を要約し、わかりやすく書く。

6. 教材観

7. 生徒観

8. 指導観

9. 単元の評価規準

A コミュニケーションへの関心・意欲・態度	B 外国語表現の能力	C 外国語理解の能力	D 言語や文化についての知識・理解
① 読みながらメモを取るなどして、関心をもって読んでいる（読むこと）。 ② うまく表現できないことがあっても、既知の語句や本文中の表現を用いるなどして書き続けている（書くこと）。	① 読んだ内容を平易な表現に置き換えたり、情報の順番を並び変えるなどして、読み手にわかりやすい文章を書くことができる（書くこと）。 ② トピックセンテンスやキーワードを適切に用いて要点が明確な文章を書くことができる（書くこと）。	① 説明などを読んで、特に重要な事実等をとらえることを通じ、全体の要旨を理解することができる（読むこと）。 ② 各パートの「もっとも伝えたい情報」(main idea)、「より詳細な中身」(details)、「例示」(examples)などに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる（読むこと）。	① 過去完了進行形の用法について理解している。 ② 動名詞の意味上の主語を表す表現について理解している。 ③ 知覚動詞＋目的語＋現在分詞／過去分詞の用法について理解している。

10. 本課（本単元）の指導と評価の計画（全 10 時間）

時	生徒が学習する内容	主な評価規準と評価方法
第 1 時	○単元の導入 ・ レッスン全体の概要について、英語・日本語でのオーラルイントロダクションを聴く。 ・ 本課の課題（単元の目標）と評価規準を知る。本文の要約を書くという課題については評価基準（判断基準）についても理解する。	
第 2 時	○Part 1 本文導入 ・ 語彙の確認と口頭練習。 ・ 関連した画像などを見ながら英文を音読し、イメージとともに内容を理解する。 ・ Q & A、T/F questions などを活用して内容を確認する。	C－①（ワークシート）
第 3 時	○過去完了進行形の用法について理解する ○Part 1 本文のインテイク ・ スラッシュで区切られた英文を音読する。 ・ mainidea、details、examples をメモしながら論理展開を把握する。 ○Part 1 全体の要約を書く	D－① （後日ペーパーテスト） C－②（ワークシート）
第 4 時	○Part 2 本文導入 ・ 語彙の確認と口頭練習 ・ 関連した画像などを見ながら英文を音読し、イメージとともに内容を理解する。 ・ Q & A、T/F questions などを活用して内容を確認する。	C－①（ワークシート）
第 5 時	○知覚動詞＋目的語＋現在分詞／過去分詞の用法について理解する ○動名詞の意味上の主語を表す表現について理解する ○Part 2 本文のインテイク ・ スラッシュで区切られた英文を音読する。 ・ mainidea、details、examples をメモしながら論理展開を把握する。 ○Part 2 全体の要約を考え、書き始める	D－②・③ （後日ペーパーテスト） C－②（ワークシート）
第 6 時	○Part 2 本文の要約を確認する ○Part 3 本文導入 ・ 語彙の確認と口頭練習 ・ 関連した画像などを見ながら英文を音読し、イメージとともに内容を理解する。 ・ Q & A、T/F questions などを活用して内容を確認する。	C－①（ワークシート）
第 7 時 （本時）	○Part 3 本文のインテイク ・ スラッシュで区切られた英文を音読する。 ・ mainidea、details、examples をメモしながら論理展開を把握する。 ○Part 3 全体の要約を書く	C－②（ワークシート） A－①（観察）
第 8 時	○Part 4 本文導入 ・ 語彙の確認と口頭練習 ・ 関連した画像などを見ながら英文を音読し、イメージとともに内容を理解する。 ・ Q & A、T/F questions などを活用して本文の内容を確認する。	C－①（ワークシート）
第 9 時	○本文のインテイク ・ スラッシュで区切られた英文を音読する。 ・ mainidea、details、examples をメモしながら論理展開を把握する。 ○Part 4 全体の要約を書く	C－②（ワークシート） A－①（観察）
第 10 時	○各パートの要約文の内容をチェックする ・ グループ内でそれぞれ自分の書いた要約文を発表し合い、評価基準（判断基準）表にのっとりながら相互評価する。 ・ クラスメートの評価を受けて自分の要約文を修正する。 ○本課全体の要約文を構成する ・ 各パートで確認してきた論理展開をフローチャート図に整理するなどして、本課全体の要約文を構成する。	A－②（観察） B－①・②（要約文）

11. 本時の展開（第7時）

(1) 本時の目標

- ・Part 3 本文について、main idea、details、examples に注目しながら論理展開を把握する。
- ・Part 3 全体の要約文を書く。

(2) 本時の評価規準

- ・main idea、details、examples などに注意しながら文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。
- ・メモを取るなどして、関心をもって英文を読むことができる。

(3) 本時の学習過程

時間	生徒の学習活動	指導内容及び指導上の留意点	評価規準及び評価方法
導 入 10 分	○あいさつ ・日付、曜日、天候などについて英語で答える。 ○前時の復習 ・Part 3 本文を聞き、Q & A で内容を確認する。 ・本文全体の音読を行う（コーラス）。	○英語の授業への雰囲気づくり ・日付、曜日、天候を生徒に問いかけ、板書する。 ○本文の内容を全体で確認 ・Q & A に基づきポイントを簡潔に板書する。 ・音読の際、机間指導をして発音や音のつながりを確認しながら進める。	
展 開 35 分	○スラッシュ・リーディング ・意味の区切りごとに範読（CDまたは教師）をリピートする（コーラス）。 ・教科書を閉じて意味の区切りごとに範読をリピートする（コーラス）。 ・ペアで意味の区切りごとにリード・アンド・ルックアップ。慣れてきたら区切る意味の範囲を拡大する。 ○本文の論理展開の把握 ・本文（Part 3）を各自で黙読し、main idea、details、examples についてメモをする。 ○Part 3 の要約文 ・教科書、メモをもとに本文の要約文を書く。	○英文の順番に意味を取ることに意識付け ・ペア活動の際には、机間指導し、発音や音のつながりを個別に指導するとともにうまく活動しているペアをピックアップ。時間があれば、全体での発表につなげる。 ○要約文につながる読みの促進 ・次の要約文を書く活動につなげるように生徒に意識を持たせる。 ・机間指導しながら生徒の学習状況を観察する。 ○わかりやすい文章の意識付け ・単元冒頭で示した評価基準（判断基準）を再度示して、読み手にとってわかりやすい文章表現を意識させる。 ・要約文を書きながら、本文や既習の表現を活用することを促す。 ・机間指導の際、うまく書けている生徒をピックアップ。発表につなげる。	A－① （観察） C－② （ワークシート）
まとめ 5 分	○数名の発表 ・要約文の評価基準（判断基準）を確認しながら代表者の発表を聞く。	○評価基準（判断基準）の確認 ・発表者の内容を基準に基づいて評価する。 ・各自の書いたものを家庭で推敲することを指示する。	

要約文の評価基準（判断基準）（例）

評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
読んだ内容を平易な表現に置き換えたり、情報の順番を並び変えるなどして、読み手にわかりやすい文章を書くことができる。	読み手に前提を示し、文章の先を予測させ、予測通りに展開する記述になっている。	情報をまとまりよく記述している。情報の並び方にやや混乱が見られる。	読み手が内容を把握するような情報の流れになっていない。
トピックセンテンスやキーワードを適切に用いて要点が明確な文章を書くことができる。	本文の main idea、details、examples を過不足なくとらえて記述できている。	本文の main idea をしっかりととらえて記述している。その他の情報にやや不足が見られる。	本文の main idea がはつきりしない。また情報に過不足が見られる。